

るのではないか、つまり、種子が成熟にいたる段階で、胚が完成して発芽能力をそなえてから休眠状態に入る前の段階にあった種子が、室温で発芽したのではないかと想像される。これは推測の域を出ないが、オニバス種子の休眠性を考える上で興味深い事実と思われるので、ここに記録しておきたい。

引用文献

Kumaki, Y. & Y. Minami. 1973. Seed germination of "Onibusu" *Euryale ferox* Salisb. 2. Bull. Fac. Educ., Kanazawa Univ. Nat. Sci. 22 : 71—78.  
 Okada, Y. 1930. Study of *Euryale ferox* Salisb. V. Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ. Ser. 4. 5 : 41—116.  
 豊田清修. 1958. ハスの果実の成熟段階と発芽について. 植研 33 : 85—91.

「キシュウズメノヒエ亜種」のこと

角野康郎

キシュウズメノヒエは九州から関東にかけて分布するイネ科の植物で、平野部の溜池や河川、水路などでよく見かけられる。水辺に生えるだけでなく、水中まで浮島状になって広がっていることがしばしばである。そこで私は、同じイネ科のウキシバやアシカキと同様に、キシュウズメノヒエも水草として扱っている。

各地から集めたキシュウズメノヒエを比較研究された宮崎大学農学部の池田一先生は、九州筑後川流域の「キシュウズメノヒエ」が、外部形態的にも他の産地のものに比べて著しく異なり、また染色体数においても他の産地のものが  $2n = 60$  であるのに対し、筑後のものだけは  $2n = 40$  であることを報告され、これをキシュウズメノヒエ「筑後系」と呼ばれた(池田、1974)。

この「筑後系」は、有明海沿岸のクリーク地帯に広がっていることがわかり、芝山ら(1976)はこれを「キシュウズメノヒエ亜種」と呼んで、ふつうのキシュウズメノヒエから区別した。最近になって、千蔵ら(1982)はこれに「チクゴズメノヒエ」という新称を与えたが、まだ学名は付けられないままである(というより、正確な同定がなされていないというべきか)。

この「キシュウズメノヒエ亜種」は、キシュウズメノヒエに比べて全体的に大型で、稈や葉鞘部に毛が密

生することで明瞭に区別がつく。キシュウズメノヒエはC<sub>4</sub>型の光合成回路をもち、光合成能力が高い。そのため、休耕田で栽培する牧草としての利用が検討されているという。一方、その高い生産力の故に、九州のクリークなどではどんだんふえ、雑草害をもたらしている。特に、この「亜種」の勢いがすごいらしい。

「キシュウズメノヒエ亜種」の分布については、筑後川流域以外では詳しくわかっていない。兵庫県下の溜池にも侵入して定着している場所を数ヶ所確認しているが、少なくとも西日本では、各地に広がっているのではないかと想像される。今後、水生雑草の一つとして注目する必要があると思うので、本会会員の皆様にも注意していただきたく筆を取った次第である。

参考文献

池田 一. 1974. キシュウズメノヒエ (*Paspalum distichum* L.) における生態型の変異について. 宮大農報 21 : 309—313.  
 植木邦和. 1978. 水生雑草の分布と発生実態. 植調 12(6) : 2—10.  
 Katayama, T. & H. Ikeda. 1975. Cytogenetical studies on *Paspalum distichum* Linn. Cytologia 40 : 759—764.  
 芝山秀次郎、他. 1976. 筑後川下流域水田地帯のクリークにおける水生雑草の実態 第1報. 雑草研究 21 : 112—115.  
 千蔵昭二、他. 1982. 筑後川下流域のクリーク雑草「チクゴズメノヒエ」の生態と防除. 第1報. 雑草研究 27 : 283—287.

文献リスト<1983—(1)>

植木邦和・沖 陽子. ホテイアオイ研究会の発足にあたって. 植物と自然 17(5) : 22—25.  
 薄葉 満. 福島県会津地方の食虫植物. 食虫植物研究会誌 34 : 37—45.  
 奥田惟精・佐藤正春・中川和義・稲生義彦. ホテイアオイによる栄養塩吸収—手賀沼における植栽実験から— 公害と対策 19 : 77—83.  
 角野康郎. 印旛沼に産するヒルムシロ属の種間雑種. 植物分類地理 34 : 51—54.  
 ———. オニバスの自然誌. Nature Study 29 : 63—66.  
 喜納政修・屋良朝徳. ホテイアオイによる硝酸性窒素吸